

働く全ての方に 生活支援一時金を！



国労西日本

国労西日本本部

No. 344

発行責任者 植田 重信
編集責任者 大北 真也

国労西日本HP



国労西日本 検索

コロナ禍の労苦に対して 今こそ儲けを社員に還元せよ！

厳しい時は見直しして大幅減 儲けた時は社員へ追加支給を

2019年12月に中国で発生した新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返しながら瞬間に拡がり全世界に猛威を巻き起こしました。日本でも多くの感染者・死者を出し経済にも大きく大打撃を与えました。2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症が「5類」となり、様々な制限が解除されました。

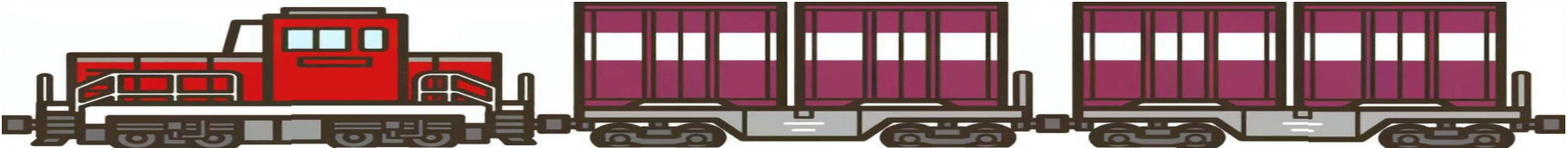


R西日本会社において9月30日をもって特例措置なども終了しました。これまでJR西日本会社は年間臨給を見直しして大幅減の低額回答をし、次の年からは会社有利のように年間臨給で回答せずその都度低額回答をしてきました。2023年春闘において会社は年間臨給で回答をしましたが、まだまだ不安としてコロナ前までの水準にもならない低額回答でした。しかし、年度末決算では予想をはるかに上回る回復ぶりであったと思います。

額回答で家族も含め贅沢も出来ない生活苦だったと思います。皆さん、労働協約の目的には「組合員とその家族の幸福を増進」とあります。会社が目的のように社員を想い、家族を想いと考えているのなら、何らかの形で還元があってもいいのではないのでしょうか。



社にとつて都合の良い年間臨給制度とせず、会社も労働者にとつても良い制度であつて欲しいと願うばかりです。離職防止の観点も含めて、我々は一律に10万円を求めて闘います。会社は社員や再雇用者など区別せず支払うべきであると考えています。コロナ禍での労苦は皆同じであります。モチベーションを上げる為にも会社には判断をして頂きたいと思ひます。



貨物会社年末手当闘争 10月13日一斉申入れ予定

共に乗り越えよう!?

社長メッセージでもコロナ禍を共に乗り越えようと我慢を押し付け度重なる低

儲けがあれば全ての社員に還元をするように主張

コロナでの特例措置の解除は会社がアフターコロナだと宣言しているようなものではないでしょうか。会社

客一体での運動強化をしよう

西日本のみならず貨物会社でも度重なる低額回答により家族を含め、厳しい生活を余儀なくされています。今年度の年末手当闘争が始まります。貨物組合員のみならず、各級機関が一致団結して共に闘うことが重要であります。

働く全ての労働者の幸福、誇りをもって働けるように一緒に頑張って声をあげようではありませんか。

近畿地方本部 環状・片町運輸分会が宣伝

利用者へのサービスは低下

遠隔で操作が出来る「みどりの券売機」を導入後、みどりの窓口が次々と廃止され、ネットニュースでも多い意見は「不便になった」「待ち時間が多い」「不満の声が多く載せられているのを目にします。」

皆さんも仕事の時、利用者からみどりの窓口閉鎖による苦情、みどりの券売機の苦情などをもらいませんか。今まで窓口で並んでいても前が見えるので順番がはつきりとわかっていました。今は券売機に並んで前の方が終わって自分の番が来たとなってもボタンを押すと8人待ちとか30分待ちとか表示されガッカリします。窓口はこうも思っても地方では少なくないです。そこまでするのにも時間がかかりません。会社はネット推奨をします

が、携帯を持たない方やお年寄りの方には不便で利用も出来ません。まだまだ完璧でもない機械の導入を増やし、駅で働く社員も案内など困っている状況です。「待ち時間が長い」など導入をしていくのなら、しっかりと宣伝をして利用者からスムーズに使えるようになってから廃止していくものではないでしょうか。利用者も不安な状況でも気にせず廃止し、あとは利用者が自分で勝手にしてねというふうなものがないのでしょうか。いきすぎた「合理化」が安全をも低下させていくのではないのでしょうか。



私たちが「人減らし合理化反対！」の声をあげています。要員をしっかりと配置し誰もが余裕をもって業務が出来ることが出来るようにすることです。しっかりと声をあげていきましょー！

JR西日本は 12月より 遠隔型「みどりの券売機」導入で「学研都市線・京田辺駅」みどりの窓口」の廃止を提案！ 利用者のサービスの切り捨ては許されません。「撤回を！」



1987年に国鉄の「分割・民営化」が進行され、儲けることを最優先にしたJR会社が発足、18年が経過した福知山脱線事故は、鉄道の安全を揺るがす重大事故でした。しかし、その後もJR西日本は外注化、機械化、委託化など次々と人減らし「合理化」を進めています。こうした中で、JR西日本は9月に、2023年12月実施の京田辺駅の「みどりの窓口閉鎖」を提案して来ました。理由としては「遠隔型Mの導入による機械化」により、経営状況を鑑み、お客様の利用状況に応じて「みどりの窓口」の数を縮小し、出札に関わる体制の見直しをすることとしています。

不便でお待たせする駅！

相次ぐ「みどりの窓口」の閉鎖に伴い、遠隔型Mの待ち時間が長時間待つ駅が多数発生し、利用者の方からは苦情の声が寄せられています。「パソコン・携帯電話」が得意の方はわかりませんが、「みどりの券売機」で購入できない切符は松井山手駅・長尾駅や四條畷駅などに行かなければなりません。列車の乱れや異常時の対応など、「みどりの窓口」の閉鎖はサービスの低下だけの問題ではなく、安全輸送にも大きく影響するものです。遠隔対応システムのいくつ先は、まさに人件費を減らし儲け優先の「効率化」駅員減らしです。私たちは、サービスや安全の切り捨てを見逃すことは出来ません。

誰もが便利に利用できる駅を求めます

9月開催される会社との団体交渉で、窓口閉止を撤回するよう追及し、未だに続く利益優先の安全サービスを無視した人減らし合理化に反対し、JR利用者の皆さんと共に、安全・安心して利用できる鉄道めざして、運動を続け奮闘します。

- 「みどりの券売機」導入で「取り扱い出来ない切符は」
- レール&レンタカー
 - イベント券
 - 乗車券特急券の区間変更
 - こどもICOCAの発売
 - 団体乗車券 など
- JR西日本へのお問い合わせは
JR西日本お客様センター
0570-00-2486



国鉄労働組合環状片町運輸分会
大阪市北区御田3-2-86 2023年9月

がん保険にできることを、もっと。

NEW
「生きる」を創るがん保険 WINGS

No.1 アフラック がん保険・遺言保険 保有契約件数 令和3年度 インシユアランス生命保険統計

1 幅広い保障で 経済的負担をサポート
治療前の検査から治療後の外見ケアまで幅広い保障でしっかり備えることができます。

2 付帯サービスがアフラックのよりそうがん相談サポート(※1)> (2023年1月23日サービス提供開始予定)
アフラックのよりそうがん相談サポーターがさまざまな悩みの解決をサポート
「がんかもしれない」と思ったときから専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

(※1)アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(https://www.afac.jp/keiyaku/gansoudansupport.html)をご確認ください。

アベニール株式会社
千105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック
東京第二法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885

国労ってなんだろう

調べてみよう